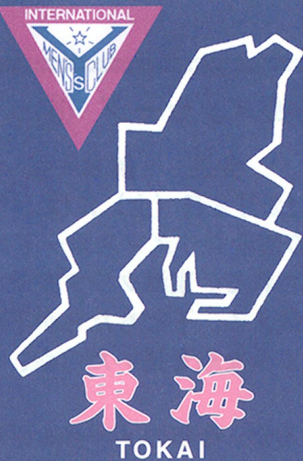




Dream

2012 年 12 月号

Vol.45-6 2012.12.1

Bulletin

会長標語 やっぱり ワイズでしょ!

国際会長主題 「世を照らす光となろう」

Philip mathai (インド)

アジア地域会長主題 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」

Oliver Wu (台湾)

西日本区理事主題 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」

成瀬 晃三 (名古屋クラブ)

中部部長主題 「前へ! 声を掛け合い」

荒川 文門 (名古屋南山クラブ)

クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」

今月の聖句

エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。この方は主を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、正義をもって寄るべのない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。正義はその腰の帯となり、真実はその胸の帯となる。
イザヤ書 11 章1〜5 節

強調月間 EMC-M

12 月例会ご案内

◎12 月第 1 例会(クリスマス祝会)

日時:12 月 9 日(日) 17:30~20:00

受付 17:00~

会場:出雲殿

名古屋市中村区名駅南 2 丁目 7-46

電話:052-582-1122

担当:浅野猛雄君・伊藤貴久君・

会費:メン・メネット・大人のゲスト 5,000 円

小学生以上高校生まで 3,000 円

(未就学児は無料)

第1部 礼拝 17:30~18:00

司会:東田美保君 奏楽:橋爪メネット

メッセージ 鈴木一弘会長

第2部 祝会 18:00~20:00

司会:伊藤貴久君

開会宣言・点鐘 鈴木一弘会長

ワイズソング

ゲスト紹介

食前感謝

野村秋博君

乾杯

遠藤彰一君

——会食・歓談——

ビンゴゲーム

山村喜久君

閉会宣言・点鐘

鈴木一弘会長

◎12 月第 2 例会

日時:12 月 21 日(金) 19:00~

場所:名古屋 YMCA

出席義務者 長谷川和宏君

例会終了後に忘年会を催します。

多数ご参加ください

◎平和の使者クリスマスカードコンテスト

会場:名古屋 YMCA

審査会:12 月 8 日(土) 10:00~

表彰式:12 月 22 日(土)

特選・特賞作品は 12 月 19 日~25 日に
栄セントラルパーク情報ギャラリーで展
示されます。

◎クリスマスキャロル in JR セントラルタワーズ

日時:12 月 23 日(日) 18:00~

場所:JR名古屋駅タワーズガーデン

今月の第1例会はクリスマス祝会です。
いつものようにビンゴゲームをしますので、
各自景品をご用意ください。
今年の開催場所は昨年までの「カコ・パサ
ーノ」ではなく「出雲殿」です。お間違えの
無いようご注意ください。

11 月報告 (11 月 16 日現在)

在籍者:正会員 19 名 広義会員 1 名 出席者:18 名 メネット 3 名 出席率:94.7%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持とう、義務はすべての権利に伴う。

「社会保険労務士が考えていること」

石原宮昭氏（石原社会保険労務士事務所長）



11月第1例会 11月2日（金）

11月第1例会の卓話は、表記のテーマで石原宮昭氏（石原社会保険労務士事務所長）が講演した。

石原氏は7年前に名古屋の中堅広告代理店からこの世界に転身して、名古屋を中心に企業のサポート活動をしている。

冒頭、税理士や税務署からみて社会保険労務士が低くみられるのは、『納税は弥生時代からお上に納税する仕事』に比べ、労働保険や社会保険は戦中から制定されたもので、この歴史が浅いからという。

「1975年代（昭和50年代）の製造業、建築業が佳境だった時代から、今はワーキングプアなどの流行語が生まれるぎすぎすした時代だ。企業では雇用側と被雇用側のミスマッチがあり、サービス残業や未払い問題で『約束』が違ふと訴えるケースも多い」と話す。

だが、相談を受けると勘違いで起こるケースが意外と多いから、じっくりと双方が話し合うことの余地もあるという。「働く人に『あなたのお客さんは誰ですか』と問うと、『自分のため』『妻子を食べさせるため』などと答えるが、正しいのは『社長を儲けさせるため』だ。最大のお客さんは、給料を出す社長だ。社長のために働くという意識が薄れると、おかしいことになる」と石原さんは危惧する。

もう一つ、今はダブルインカム（夫婦で働いて収入を得る）時代、かつての夫が一人で働いて妻子を養うシングルインカムの時代ではない。50歳代のシングルインカムの人は、女性が妊娠、育児で休業すると仕事が捗らないと怒るが、子供を育てることは長い目でみれば大切な戦力作りにもなるので、できる限り協力する姿勢が大事だ、と付け加えた。

（菅沼東平・記）

名古屋YMCA第19回チャリティーラン

<柴田洋治郎>

チャリティーラン実行委員長として今回のチャリティーランはほぼ満足のいくものであったと思いました。これも偏にワイズメンズクラブをはじめ、YMCAスタッフ、維持会員の協力と、日頃はYMC



会長メッセージ ⑥

会長 鈴木一弘

12月8日（土）には、「平和の使者クリスマスカードコン

テスト」の審査会が行われる。東海クラブがサポートし、今年で36回を数える。子どもたちが平和への願いを込めて、どのような絵を描いたのか、とても楽しみである。

いささか旧聞に属するが、今年のノーベル平和賞がEU（ヨーロッパ連合）に授与された。「紛争なき統合」が評価され、また経済危機等で苦闘する現状へのエールとの見方もある。この賞はYMCAとは非常に深い関係がある。1901年の栄えある第1回目の受賞者は世界赤十字の創設者 アンリ・デュナン（世界YMCA同盟の結成者）、また戦後すぐの1946年にはJ.R.モットー（世界YMCA同盟会長）に授与された。1997年には地雷禁止キャンペーン（ジュディ・ウィリアムス代表）が受賞しているが、このキャンペーンには日本のYMCAやワイズメンズクラブも協力していた。

ここで、私は一つの夢を見る。YMCA創立200年に当たる2044年、YMCAがこのノーベル平和賞を受賞することを。YMCAの歴史と働きを考えれば、その資格は十分にあるように思える。

「あなたがたは地の塩である」「あなたがたは世の光である」。イエスはそう言われた。（マタイ5章13～16節）街がクリスマスソングで賑わう中、もう一度、YMCAの働き、ワイズメンズクラブの目的について、振り返ってみたいものだ。

Aと直接接合のない一般企業、各種団体、個人から多くの人的、資金的援助をしていただいたことによるものです。勿論、当日が素晴らしい快晴に恵まれたことも運営上大変プラスに働きました。

私が大会当日の閉会挨拶で述べたとおり、多くの支援はYMCAスタッフ及びボランティアの従来からの積み上げによるところ大であることは勿論ですが、今回、一般企業等に支援のお願いにあがった時感じたことは、特に民間企業中心に社会貢献、フィランソロピーといった考え方が浸透してきたことと、社会奉仕団体としてのYMCAの認知度の高さにより、我々の支援の申し入れが快く受け入れられたことです。私は改めてYMCAの存在の大きさを知らされました。

YMCAは日本でも130年の歴史と青少年教育、

災害支援、障がい者支援等において多くの社会奉仕の実績を有しており、この面でのノウハウ、機動力、世界的ネットワークは他に追随を許さないものを持っていると思われます。従いまして、今回のチャリティーランのように民間企業、各種団体、個人、行政等と一層絆を深くすれば、もっと有意義な活動が展開できるのではないかと思います。

今回の成果を申し上げますと、支援金総額では360万円強(当日支援分を含む、前年実績327万円)チーム参加数は58チーム(前年実績51)と大幅な伸びを示しました。これ以外にも、ラッフル等における各種提供品、賞品もバラエティに富んだ、心温まるものでした。私にとって、ラッフル抽選時の興奮の様はいつみても、この催しの最大の楽しみです。



最後に、東海ワイズの皆さまには多大なご協力いただき、この場をお借りして感謝申し上げますと同時に、来年は記念すべき第20回目のチャリティーランとなりますので関係者の一層の支援が必要となります。来年も、私も含め、ワイズメンの更なる協力での催しが実り多いものとなることを今から祈っています。

11月第2例会報告 16日(金) 19:00~20:00

名古屋YMCA会議室 出席:11名・野村メネット、10~11月に行われた行事の報告の後

①今後の11月の予定:インターアクトOB合宿:

- 11月17~18日中津川市福岡猿渡氏宅 長谷川
- ・学生YMCA震災支援活動:11月17~18日 南相馬市(関学・立教・中央大学) 鈴木一
- ・西日本区2000推進チーム委員会:11月18日 新大阪 長谷川
- ・根の上ワーク&野外例会:11月24~25日 浅野・杉山・長谷川・八木・山村

②12月の予定:第1例会:9日 クリスマス祝会

担当 伊藤貴久君・浅野猛雄君

会場:出雲殿(名駅南・下広井)

会費:メン・メネット・大人のゲスト5,000円

小学生~高校生 3,000円 幼児 無料

受付:17:00~ 担当:浅野

第1部礼拝:17:30~18:00 司会:東田

奏楽:橋爪メネット メッセージ:鈴木会長

祈祷:深川

第2部祝会:18:00~20:00 司会:伊藤

ビンゴ:山村 サンタクロース:東海の郷ミミ
くビンゴゲームの賞品(貰って嬉しい物)を各自持参する>

・第36回平和の使者クリスマスカードコンテスト

審査会:12月8日 展示準備:12月18日

展示:12月19日~25日 表彰式:12月22日

・第2例会 12/21 YMCA(例会後懇親会)

・クリスマスキャロルinJRセントラルタワーズ:
12月23日(日・祝)18:00~19:30

③ピースフルサンデー(南山バザー):10月28日
担当の山田君の尽力と杉山君の野菜の提供により売り上げは64,370円であった。

④第19回チャリティーラン:11月10日名城公園
柴田君が実行委員長として実施、東海はチームスポンサー2チーム(代走・桜花学園インターアクト)及び飲み物の提供(氷は伊藤君提供)

⑤次期役員選考委員の指名:鈴木現会長・柴田直前会長 あと若干名を追加する。次期中部主査の指定が平口次期部長より連絡がある。(交流?)

⑥1月第1例会:1月11日 担当は長谷川君

講師に平口哲夫次期中部部長(金沢犀川)を予定

⑦2月第1例会:2月8日 担当は遠藤君・杉山君・鈴木孝君、名古屋グランパスクラブと合同でプログラムはオークションを予定。<3階の会議室>

⑧YYYフォーラム:3月20日(水・祝)予定

⑨西日本区名古屋大会での役割:

会場委員会の長谷川君から東海はメネットアワーの会場を中心に担当し、その他能楽堂の設営、会場移動の誘導・案内などを担当するとの報告。

⑩名古屋YMCA創立111年記念礼拝:

2013年1月15日(火)会場は中央教会の予定

根の上ワーク 11月24日(土)~25日(日)

今年最後のワーク、寒い!しかし、準備は万端、-3度の朝、タカラキャビンは薪ストーブで快適?



根の上はもう冬 熊笹を刈り取り 40周年記念のツツジ冬を迎えた根の上、仕事をしないとほんとに寒い。熊笹刈りとペンキ塗り、落ち葉集め、やることはしっかりとやりました。おっ霜柱! (山村喜久・記)

「こころのケアを考える」講習会

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区 メネット事業

11月3日(土・祝) 名古屋YMCA



一昨年、成瀬理事より、メネット事業主任就任の要請がありました。春先、東日本大震災が起こりました。なにかメネット事業

にふさわしいプログラムはないかと探し始めたとき、くしくも二つのニュースに出会いました。

一つは被災地の首長様方の中で、特に陸前高田市長様のお話です。今、必要なのは被災した子供たちに対する心のケアの必要性の訴えでした。二つ目はYMCA 同盟では、島田総主事を始め12名の職員がアメリカの日系人コミュニティーの支援を受けて、震災による心のケアの研修会を受講して帰られたという記事を目にした事です。心のケアの必要性は、災害復旧、支援に関わるすべての識者も唱えられるところですが、組織として取り上げ、息の長い支援を実施しているところは皆無です。息の長い支援と若者の参加と現場重視の考えから部長と主査が中心となって進められることを前提とし、西日本各地で「こころのケアを考える」講習会を企画いたしました。今回、金城学院大学人間科学部長宗方比佐子先生の絶大なるご協力と仙台 YMCA 総主事光永尚生氏を初め、多くの方々のご支援を得てこの講習会が実現いたしました。

西日本区メネット事業主任 野村靖子

* * * * *

「こころのケアを考える」を受講して

西日本区Yサ・ユース事業主任

下村明子(名古屋グランパスクラブ)

11月3日、記念すべき第1回目の講習会を名古屋YMCAにて受講する機会がありました。講習が始まると、私は自身が体験した二つの出来事を想い出して涙が出そうになりました。一つ目は阪神大震災支援活動です。当時大学生だった私は支援活動を通しての会話やふれあいが人を元気にすることに感動、物事の見方が変わり、休みの度に何度も神戸に足を運びました。二つ目はうつ病を発症したことです。

家族や友達が心配し声をかけてくれることさえ苦痛に感じ、静かに寄り添ってくれる飼い猫だけが心の支えで、とにかくそっとしておいて欲しいと思っていました。「必ず良くなるから。」「頑張って！」当時の私はこれらの言葉にどれ程傷付いたことか。

このように私は自身の体験を振り返りながら受講することができたため、講習内容は理解しやすかったのですが、実体験と結び付かない場合は少々難しい内容だと感じるかもしれません。しかし、YMCAのリーダーをはじめユースのみなさんにはぜひ受講していただきたい内容です。今すぐには講習内容が理解できなかったとしても、様々な経験を重ねるうちにきっと分かる時が訪れると思います。

東日本大震災支援活動プログラムとして開催される講習会ではありますが、震災支援活動だけではなく日常生活でのコミュニケーションに対してもしっかり役立つ内容です。「そっと人に寄り添う」ことを、講習会参加を機に考えてみませんか。

「こころのケアを考える」に参加して

金城学院中学校 教諭 後藤田典子

11月3日の講習会は、東日本大震災支援を軸に私達自身の課題に思いを巡らせた4時間でした。

前半で、光永尚生仙台 YMCA 総主事の軽トラックを乗り回して活動された体験を伺いつつ、YMCA 同盟作成DVDの報告映像を見ながら、実際になされた支援、今なお必要とされる支援を掘り下げ学びました。未だ大変な状況は広く知られているのに、名古屋の私達には遠い問題になりつつあることを再認識しながら、被災地・被災者と一括りに語ることにしても示唆をいただいて、地域やそこ(光永尚生氏)に居る一人ひとりと誠実に向き合う姿勢の大切さを感じさせられました。

後半では、心理学ご専門の金城学院大学宗方比佐子教授より、震災そのものによって受けている傷、その後変化してしまった生活や社会から受ける傷など、複合的な心の重荷を学びました。重くなりながらも先生は受講者にゆっくり呼吸をしてリラックスする方法等を実体験させてくださり、工夫された時間の中でしっかり学ぶことが出来ました。また、ワイズのご協力によって、この講義が一冊のブックレットにまとめられていたので、各自が様々な活動に赴く時の強力なガイドとなるでしょう。感謝です。



終了後、この様な会は今回のように隣に座る人とも出会いが持てる人数が相応しいと感じました。無縁社会の孤立老人、人との関わりが苦手な青少年、様々な課題は被災地域だけでなく、この名古屋の地にもあります。「先ず目の前にいる人に寄り添う」を学んだ私でしたが、中高生や大学生にもこんな機会があれば、と思ったのは教員の私だけではないでしょう。この会が継続される事を期待しています。

そっと人に寄り添うーこころのケアを

考える講習会 In 名古屋

西日本区メネット事業書記 松本淳子

8月下旬から約2か月の間に、9部10か所での部会、メネットアワー・合同メネット会に参加させていただき、こころのケアを考える講習会の重要性を訴え、開催と参加を呼び掛けてきたが、ついにその第1回目となる講習会が地元名古屋で開かれた。たくさんの方に参加していただけるか不安であったが、蓋を開ければ57名もの方が足を運んでくださり、講師の先生の話に耳を傾け、DVDでの支援報告と東北の現状に聞き入った4時間だった。

仙台 YMCA 総主事光永尚生氏は「被災地という名の場所、被災者という名の人は存在しない。」というインパクトのある言葉で聴衆を惹きつけられ、金城学院大学人間科学部教授宗方比佐子先生は、難しい話の中にも身近な例をあげながら、支援が必要な人への温かい思いを示され、今、自分に何ができるかを問うのには十分な空間を作り上げられた。



被災地と言う地名はないが、被災した土地、地域はなくなっていない。復興いまだ遠しの現状のところが多くある。被災した人然り、とり

(宗方比佐子教授) わけ、自分だけ生き残った子どもは、自分を責め続けているとも聞く。この事業に関わったとき、「そっと人に寄り添える」人間でありたい、もっと深く学びたいと切に願った自分がいた。今回の講習会で受講者の皆さんと共に勉強させていただき、その思いはさらに強まったと感じている。この講習会が西日本各地で、たくさんの方の心の琴線にふれることを願ってやまないし、またそれを信じている。さらに、この講習会が各地で単発に終わらないよう、継続的に実施され、より多くの若い人たちにも聴いていただければと思う。



名古屋東海クラブの多くの皆さまにもご参加いただき、また、陰に日向にと大きなご支援をいただきありがとうございました。

「こころのケアを考える」を受講して

伊藤貴久

グリーフケア (grief care)、グリーフワーク、この言葉は一般のひとには馴染みの少ない言葉ですが、知識人のワイズメンバーはご存知だったでしょう。知識教養に乏しい私ですが、近年葬祭事業者もソフトの部分にも取り組むようになり、その関係でこの内容には以前から浅井ワイズから「皆さんも勉強して下さい」と言われておりました。

しかし正直なところ、人の内面に触れることは、ある程度専門的知識(心理学)がないと逆に注意しなければと感じておりました。今回この機会にありがたく受講させていただきました。

東日本大震災で多くの方々が、一瞬にあらゆる「者、物」を喪失され、言葉では言い尽くせない心の傷、ストレスを負ったことでしょう。建物、ライフラインはある程度復旧して取りあえずの日々の生活は何とか過ごせますが「心の回復」はどうでしょう? 宗方先生の冊子を拝見させていただきましたが、被災者の方々のアンケートにもあるように「他人に何が分かる!」とお叱りを受けそうですが、悲嘆、喪失感は計り知れません。自分に置き換えると当たり前の日々の生活、健康がどれだけ幸せな事かと思いました。一個人で何が出来るか分かりませんがYMCA、ワイズはもとより、「絆」を合言葉に、他の団体、組織も復興にかけて様々な所、分野で貢献しております。自分も今まで以上に携わり、「心のケア」は出来ませんが復興支援者の一員であり続けます。

最後に、被災地の映像と放射能の話聞き、私は大東亜戦争で家屋敷、財産(現金、満鉄株券)を全て没収され、満州国から顔に泥を塗り、女性であることを隠し子供4人を抱え帰国した終戦体験者の祖母(祖父は満州の収容所でソ連軍に銃殺)や両親、あの当時の日本国民を「なんて強靱な精神力の人々だ!」と思われてなりません。先人たちの強い「DNA」が漲っている国民です。きっと私たちも立ち直ることが出来るでしょう。

お誕生日おめでとうございます

メネット 12月2日 伊藤聡子さん
12月31日 深川康子さん

今月の西日本区強調月間は**EMC—M です**

「EMCのMはMembership。会議や奉仕など、どんな活動にも会員間の交流と親睦を図る工夫をして、ワイズライフを愉しみながら関係を強めましょう。」
西日本区EMC事業主任

米村健一君（熊本むさしクラブ）

「東海クラブだより」

◇名古屋YMCAチャリティーランが例年どおり、北区の名城公園で開催された。名古屋市内の企業や友人たちが編成された58チームが、個人レースには3歳から成人までの32人が参加した。

◇開会式では 名古屋ロータリークラブの大島寅夫会長（中日新聞社副会長）が「皆さんの力を借りてこういう活動を続けていきたい」と挨拶した。

◇当東海クラブは柴田君がチャリティーランの実行委員長として大活躍で、クラブメンバーは飲み物を提供し、チームスポンサーとして 桜花学園インターアクトクラブを応援した。

◇ピースフルサンデー（南山バザー）は10月28日、山田君の担当でチヂミ、キムチ、韓国ノリを杉山君の畑から提供された冬瓜、ピーマン、茄子などを販売し、売上金は64,370円だった。

◇12月の例会は「クリスマス祝会」、12月9日（日）17時30分～、出雲殿（名駅南）で。昨年の会場カコバサーノではないので間違えないように。

（菅沼東平・記）

会費納入のお願い

会費（月額） 7,000円 （年額） 84,000円

一般会計 振込銀行口座

三菱東京UFJ銀行鳴子（なるこ）出張所
普通3542610

口座名義 名古屋東海ワイズメンズクラブ

		11 ／ 2 第 1	11 ／ 16 第 2	10 ／ 28 南 山	11 ／ 10 チャ リテ	11/ 24・ 25 根の 上	Fund Point
1	浅井 秀明	広義会員					
2	浅野 猛雄	○	○	○		○	
3	伊藤 貴久	◎	○	◎	○		10,000
4	遠藤 彰一	○					
5	柴田洋治郎	○	○		②		
6	菅沼 東平	○					
7	杉山 敏雄	M	○	○	○	○	7,000
8	鈴木 一弘	○	○		○		
9	鈴木 孝幸	○					
10	鈴木 浩之						
11	野村 秋博	◎	メ				
12	橋爪 良和	○	○	○			
13	長谷川和宏	○	○		○	○	
14	服部 敏久	○					
15	東田 美保	○	○	○	○		
16	深川 直	○	○				
17	松本 勝	◎	○		○		
18	八木 武志	○	○	○	○	○	
19	山田 英次	○		④	コ		
20	山村 喜久	○			○	○	

◆2012～2013 年度クラブ役員

会 長：鈴木一弘 副会長：山村喜久 書記：八木武志 直前会長：柴田洋治郎 一般会計：深川 直 特別会計：鈴木浩之（浅野猛雄） 会計監査：浅野猛雄 連絡主事：東田美保 メール委員：鈴木一弘 YMCA サービス・ユース：柴田洋治郎・伊藤貴久 EMC：浅野猛雄・山田英次 地域奉仕・環境：松本 勝・服部敏久 交流：野村秋博・橋爪良和・鈴木孝幸 ファンド：山村喜久・遠藤彰一 広報・ブリテン編集：菅沼東平・深川 直・八木武志 （発送）：浅野猛雄・長谷川和宏 根の上担当：山村喜久・杉山敏雄・八木武志 メネット連絡員：松本淳子

◆西日本区役員・委員・中部役員

メネット事業主任：野村靖子 メネット書記：松本淳子 メネット会計：杉山由香里 ワイズメンズワールド編集委員長：野村秋博 区組織検討安全対策委員：鈴木孝幸 中部直前部長：長谷川和宏 中部EMC事業主査：松本 勝